

1
2
3
4
5
6
7
8
9
20
1
2
3
4
5
6
7
8
9
20
1
2
3
4
5
6
7
8
9

電子複写不可

1530

南西諸島方面電報綴

昭和二〇、六

三



電報綴 / 南西諸島方面(二〇一五)

第二海軍局殘務處理部資料課

六 一 受信一四三二〇〇番二丁一〇一三〇電〇〇五四四 航作板本〇

昭和廿年六月五日

五基地航空部敵機報告信託所



機密第一〇一〇八〇三番電

南都攻撃部隊敵機報告(三十一日 一日)

一、銀河三機(雷装二 爆装一)〇〇〇四一〇〇一七沖繩島邊崖船
攻撃發進〇七三三ヨリ進撃セルモ二機發動機不調一機天候不良
ノ爲引返

二、一式陸攻四機九六式陸攻二機一八〇五一〇〇〇四沖繩及伊江島
飛行場攻撃ニ發進南方ヨリ進撃セルモ全機天候不良ノ爲引返
〇七一五哨戒機五機歸着ニ機ハ發動機不調トナリ〇七〇五臺東
ニ不時着。

通二二一 四一Bケ十二(一三二七五番K)四二管

1534 6-1

六
一
一七八五〇
一八五四
〇〇三八五
航作本



大島防備隊。寶島
佐領參謀長。指宿航空基地。口永良部島見張所。三特攻隊隊部

機密第〇一一一三〇番電

宛 陸軍海軍航空隊指揮官

一 貴隊圖書室本島に在り昨夜二一三〇頃歸投セリ
二 機銃故障中ノ三番機(片倉飛行)ト二三〇〇頃迄同航分機後同編
行衝不明徹底の本島周邊捜索中昨夜東海上平穩ナルモ爾邊界不良
ナリ
三 番機ノ所在判明次第之ト合同用下セシムル豫定ナルモ天候ノ都
合ニ依リハ口永良部島に避泊セシムル豫定。

通稱〇〇 時二時(九三八〇) 佐二放 山下(小林)

ナル手段ヲ避ケテ箇ニ集集三〇〇機ヲ當方面ニ配備制ヲ極テ確保散機
 動部隊ヲ散機ヲ圖ラセバ沖繩島其ノ死命ヲ制スルニ至ルベシ
 (1) 有力機隊部隊ヲ所部日機機隊機隊ハ奄美大島ヨリ大ナル事
 (2) 最近散機ニ重テ機砲射撃及散機水機ノ折海出頭大ナル事
 (3) 散機ヨリノ情報ニ依リテ有力ナル散機ヲ所部隊ハ南西群島方面ニ出
 撃官古石軍ハ地形ニカ使用ニ適シアル事。

II

六三 既受二〇一〇

電〇一五六八五

作機〇

通 急



父 根

母 爲 警 備 隊

機務電話第〇一二〇四五番電 二分ノ一二

通 報 機 務 隊 長

沖繩優良間方面ノ戰訓ニ鑑ミ機ヲヨリ三重島味島等ノ偵察ヲ期シ
 若タル機隊軍ニ協機隊軍機隊少尉海軍中尉少尉ヲ各指揮官トシテ該海
 軍大波各一翼下士官兵各一〇名ヲ以ツテ本一日〇三〇〇沖機機偵察隊
 機務隊長ヲ同行セシメ海路水路ノ偵察ニ當ラシメタリ機務ノ干支機及
 西浦ニ各三箇小艇機機機隊機務ヲ經臨機ヲ偵察シテ西浦ノ小艇機機ヲ
 四箇機機一四〇〇機機機機ナシ。

通六二二

天二〇(母一〇〇九)母

(五)

6~3

六二 受信一五二〇 誤始二〇二〇 誤了二四〇五 依概〇

緊急

神根A

高通

停

機密第一二二〇〇番電二分一

台参電二二二号
發第十方面軍司令官
宛三三軍司令官

騎敵進攻以東既二月此間勇戰ナル敵ヲ
攻惠シ航空ノ戰果ト相俟ツテ未嘗有ノ大出血ヲ強要
シ帝國全般作戰ニ寄與セル所甚大ナルモアリト一機
此時當リ帝國陸海 航空ノ主力ヲ喪失セテ義
勇及。《通信課誌 本電二分ニ流配布》(東邊陸軍始符不詳譯者存
通八六呂一B七 (九六九〇KC) 依通 鈴木 (石中) 運送

六二 受信 〇四二五 歸了 〇六三五 記 〇一二〇五 作 〇

緊急

沖根

高 通

傍

機密第〇一二一〇〇番記 二分ノ二

軍令

決

行セラルコトニ決

決

只首領大ニ戦果ヲ祈念シテ止マザルモノナリ今ハ貴軍將
兵ハ唯々精神力ニ依リテノミ敢闘セラルル狀況ナルモ愈々懸置一體死
力ヲ盡シ以テ皇軍附ク精神隨テ發揮セラレンコトヲ切望ス第十方面
軍司令官本處受領セバ返電アリ度。

電信録註 本電二分ノ一未着

第六四七 品一ロク七

作

● 參謀大長・聯合艦隊口・佐領口

受信 〇〇九二〇〇 電自 〇〇二七八 參作 本〇

〇〇三三〇〇〇〇

球參電第五三九號 其ノ三五六

亦別ニ有力部隊ヲ以テ「與原」附近ヨリ「イナクリネ」コチン外」
方面進撃企圖シアルモノ、如ク同方面「知念」半島ヲ奪回亦漸次活氣
ヲ呈シ

其ノ三未着宜ノ四既配布 以下其ノ五

然レドモ敵ハ漸ク我が企圖ヲ察知シ我が雄決力不足ノ爲軍尙後方整理
ノ如クナラズ正而陣地新主陣地帯内ニ集合シ得ル兵力ハ防衛召集

協 作 (五二〇〇〇) 佐 通 戸田・谷島(小幡君)

砲兵後方部隊等ヲ主眼トシ陸海ヲ併セ尙相當數ニ達ス見込テ下ノ手廻
圖書材兵器ノ類ニ至リテ。

（電信機件 本電其ノ一四七ノ配布其ノ他未着）

六三 受信。四三五
譯始。八三八
譯了。八五七
電自。三五六
至。三二八
作。破。本。

作

參謀次長・佐鎮口
聯合艦隊口

二一〇二五〇
二一〇二二〇

球券電第廿三九号其ノ一四七

六月一日 南部ノミテハ 長砲兵本部大部分ヲ追跡シ

逐次南下中ニシテ主トシテ 和原及「初雨」ノ方向ノミテ「習里」

地區集結ヲ果ス（以下其ノ一） 二軍ハ依然地域のニジキウニ依リ引續キ能力ヲ降ケ軍需品ノ後

送ニ努メ一方主陣地帯強化ニ努カシリ（以下其ノ二） 殆ド消耗一箇聯隊僅ニ残銃一ヲ存スルヲ標準トスルガ如ク現状

ニシテ兵器彈藥補給ハ僅眉ノ急務ナリ。 本電其ノ一四七以外未着

（電信機件 本電其ノ一四七以外未着） 圖四・山崎（抄）

圖四・山崎（抄）

1中

作戦要略
 六二 受信〇九四〇 丁一二二〇 〇〇七五三
 開始一〇二〇〇
 佐 浦
 航本〇

停

暗號軍機秘

機密第〇一一六三〇號 製作成案

球部要略隊長ニ傳ヘラレ度

一昨日空輸決行シ悪天候ニ因マレ投下シ得ザルハ度ニ残念ノ事ナシテ

軍ハ天候ヲ突破シ空輸ヲ遂行ス

天投下地點ヲ因ニ田示カラレ度又日々ノ天候通知カラレ度

馬七六一 日一〇ケ七一九六九〇(知)佐浦 長谷川(島田)

六二受信 一八五五 附了 二二五〇 電報 〇〇一〇八六 作發 〇



天一 作戰部隊

沖 綱 根

機密 〇二一四〇二番電 二分ノ二二

沖根聯合隊 敵艦隊 海報 (三十一日)

敵ハ西口ニ突入スルト共ニ約二〇〇ノ敵ハ那覇ヨリ暴波殿與候方面
侵透夫ノ博地構築ヲ開始セルヲ以テ磯動地區ヨリ砲撃ヲ加ヘタリ
戦果不明 被撃戦死下士官一兵三 重傷兵三

目下風浪アリ那覇古波蔵國場方面ニ創込ヲ増勢シ艦船ノ往來頗難ナル
ヲ以テ那覇古波蔵ノ敵ヲ砲撃ス
小隊方面ニ對シ敵ノ追撃砲艦砲ニヨリ反撃敵ノ報復砲艦砲ヲ烈ト
ナル 戦果不明

九六八・一〇二七

一〇七七

(八三〇)

(三二二)

(一〇〇)

6-2

六二 受備一九四五 丁二二一五 〇一〇五二 作機〇



天一 陸作戦部隊

沖 機

機密第〇二一四〇九番電 二分ノ一、二

沖繩根據地陸海空聯合部隊司令部報告第五二號

高地一帯ニ約五〇名陣地構築中ニシテ我之ヲ監視中
向約五〇〇ノ敵ハ首尾ヨリ那覇方面ニ約五〇〇ノ敵ハ與儀ヨリ園場

へ移動中約二〇ノ敵ハ眞玉橋ヲ修築中ニシテ敵ノ小隊ヘノ進攻ハ眞

玉橋方面ヨリノ算大進化シツツアリ敵ノ第一線ハ那覇園場一日橋本

部照屋崎川神里ノ線ナルモノ如シ海軍部隊ハ眞玉橋嘉敷ノ状況ニ

従ニ宜群ノ線ニ陣地ヲ占領敵ノ一帯線滿海岸ヘノ突進ヲ阻止シテ

九八〇 呂一八ヶ七 (七八七五) 一五〇B 小原 (〇〇〇〇)

6-2

六二 受信二二三〇 譯了二三三〇 電〇一〇一三
譯怡二二〇五 ④ 高雄通信隊 作概本

倍

④

沖繩根 P

機密第〇二一八二五番電

機密

發 參謀長
宛 球參謀長
球參電第五二九號開聯電
台參電第二六六號 球參電第五二九號、詳請之至難之戰況、
於、尚飽、之、迄、敵、之、血、強、要、之、策、之、去、ガ、ント、ス、レ、普、軍、ノ、戦、
關、狀、況、定、之、同、情、敬、意、之、堪、ハ、ル、ト、共、其、敵、弱、之、對、之、哀、心、
敬、意、ヲ、表、ス、更、之、渾、身、ノ、勇、ヲ、振、最、惡、之、狀、況、之、至、之、迄、拜、カ、ル、
普、軍、ノ、名、譽、ヲ、發、揮、シ、レ、ン、コ、ト、ヲ、祈、念、シ、止、マ、ス、

通一〇八六 呂一日付七(九六九〇KC)佐通 高橋(増田)

6-3

六三 受信 〇〇二〇四五 一〇一四 電 〇〇一二八四 作 機

緊急

傍

聯合艦隊司令部。第五航空艦隊司令部。第六航空隊司令部。

機密

機密 第一〇二二一二五 電 二分ノ一、二

二日 戰況 概報

六 南西方面 (奄美大島) 附近 敵天ノ爲 豫定ニ依ル 作戦行動ニテハ 到底出來ザリシモ 漸ク 本日午後ヨリ 回復シ 始メタルヲ以テ 本夜 重機七機ヲ以テ 南西諸島 (琉球嶼) 祝言島 沖繩 (明三日 特別攻撃隊 三十五機 戰國機 約五十機) ヲ以テ 沖繩 南鄙 周遊ノ 敵艦船ヲ 攻撃

三 本日ノ 敵小型機 來襲ニ 方リ 知覺ハ 飛行場 飛行機ニ 損害ナシ 特攻隊員一

名 整備兵 二名 敵機ノ 銃撃ニ 依リ 戦死 官階 海軍 基地ニ 於テ 被損機 六零 個

三 機 炎上セリ。
一八九七 呂一Bケ十二 (三八二〇) 關根 (雨 谷)

受信二二三六 譯丁二三五五 電〇〇一〇〇五五 作本〇

作戦緊急

○ 共 符

作

● 天航空部隊作戦命令着信處所

機密第〇二二一三五番電 二分ノ一二

發 〇〇〇〇 參謀長

一、明三日ノ沖繩周邊登陸攻撃ニ於テ飛行機隊出發前ニ敵小型機大群南九州地區ニ來襲セル場合ハ指揮官所定ニ依ル三四三部隊ハ専ラ遊撃ニ〇三部隊ハ全力進攻大型機ノ編隊來襲ノ場合ハ兩部隊全力遊撃セシメラレル内意ナリ
二、明朝ノ晝間索敵ニ於テ敵機動部隊ヲ略三〇〇區内ニ發見セル場合ハ第二戰法別法ニ依リ機動部隊ニ攻撃ヲ指向セシメラレル豫定。

通 〇〇一三四五 呂一Bケ一二(七八七五加)一K P Q B 放 谷島・大内(念存)

七三 受電一九〇 設始言言 電〇〇二五九九 作航〇
電至〇二五七一 参考本

作戦特別緊密心 共 子



聯合船隊員

道電先 聯合船隊 参謀長長 〇三〇三〇〇

球参電第五四七号 其二三

ニ夕刻ニ於ケル如上戦線

一戦線著者又ナリ 軍主力 製造行動ニ進出

調遣機シツツアリ

ハ然モ其敵砲爆撃ノ重況ハ逐次「キヤム」米島方

面ニ移行 偵察ニ依リ 南西方新主陣地帯内

ニ対シテ敵機ノ攻撃手並ニ忍び見近シ 若干者機動

...

...

...

...

...

...

...

...

六五 受信〇一五〇 誤了〇三二〇 電〇三二五 作概〇
誤始〇二三〇

詳載特別緊急

傍

聯合艦隊中

〇三一〇三五〇

球參情電才六九〇号其一
一三〇九〇〇 現在艦船狀況

「赤通」海面艦種不詳大型四C一D五「與座大野」
射擊中「漢川」南方海面 B一C二D二(續)

一守備隊註 學生其以下未着

通二三八 協作(五二〇)C(注通)

右注(列)

六三 電信一四一〇七 野丁一五四三 電〇一四三三 抗作本概〇

至急

● 出水 航空 基地

● 天航空部隊取調海報着信體所



● 松島 航空 隊

機密第〇三〇八四九番電

出水部隊取調海報(六月三日)

一 沖繩周邊敵艦隊船團攻撃ノ爲ニ日二三〇〇陸攻三機發進〇五四五


一 海軍省

二 一機通信連絡ナク未歸還ニ香機沖繩附近天候不良ノ爲引返ス

三 戦果未詳機ニ依リ不明

四 被害未詳機一機

通一四五九 田一〇ケ一二(三九八五) 七yob放音原(小隊)

スルル小船一艘、砲撃等、傍若無人、様相。多ク
タリシヲ我艦行動先、難此セリ。

六三受信一九三一 譯了二二五〇 電〇一七七〇 作概
譯位二一〇〇 〇一七七一 参考

作
最
早
急

優

聯合艦隊

全

共符

三一〇三三〇

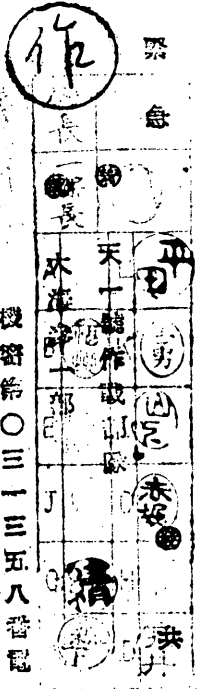
通電先 參謀次長 聯合艦隊 臺灣軍

球參電第五四七號 其一二二

軍命令ニ基キ中央並ニ關係方面ニ爾後、航空作戰ニ對スル
戰訓報告等、連絡要務ヲ帶ビ先月十日以來、待機中ナリ
リシ當軍參謀「朝田」中佐ハ連絡スルト共ニ派遣ヲ中止スル件
三十日夕刻三十日 月更山前ニテ「キヤム」先「トクフ」島
ニ向ヘリ。

通一六四五 一六四九 協作 (五) (B) (空) (通) (四) (五)

仲



六三 受信一六二五
開始一七一四

即丁一八二一

電〇一五一五

作本〇

六軍作戦要領計畫中

一 本三日夜特攻約十五機ヲ以テ陸良間列島艦船攻撃
 二 明四日朝以後機動部隊北上 海軍之ヲ攻撃スル場合左ノ如ク作戦ス

④ 戦闘機ノ大部ヲ以テ海軍行動豫定ノ進撃掩護ヒシメントシ戦闘機ノ一部ヲ以テ陸分基地特攻發進掩護司偵特攻ヲ陸分ニ前進海軍特攻ト同行攻撃ス。

通一五三〇

呂一Bヶ十二(七八四五E)一KFGB放

入示(山中)

六三 受信二三 離八 丁〇一三七 電〇一六五一 就作 本機〇
 四三 離始〇一一〇日 共 符



六航軍戰國概報 若備監所

機第〇三一四一〇番電 二分ノ二

大航軍戰國概報 (三日)

一、飛行第六〇及第一一〇戰隊ノ重爆各三機ヲ以テ兵器投下ノ爲出動
 脱受シ一〇三〇〇頃沖繩島附近ニ到達一機ノミ目的ヲ達セルモ他ハ
 天候不良ニシテ投下地點發見シ得ズ 損害未歸還一機
 二、特攻三三ヲ以テ〇九三〇一〇三四ノ間發進中城灣及嘉手納沖敵艦
 艇攻撃ニ向フ、

三、〇八〇〇一〇九三〇ノ間知覽約四〇機都城八機ノ敵小型機ノ攻撃ヲ
 受ケタル 當軍關係ノ地上ニ於ケル損害ナシ 戦果空襲ニ依リ
 機五機 損害未歸還一機
 通一七二二一八〇一 呂一七ケ十二(七八七五)一五七〇放森(森 田)

6~4 1558

六 四 受信〇二五〇〇 了二二三五 電〇一九一四 作 概〇



聯合艦隊司令部

三一六三〇

二 參情電第四八四號其ノ二、三
三 一日〇八〇〇一一日一五〇〇ノ間ニ於テ、沖繩方面出 狀況
北飛行場大型機艦載機六隊（戰闘五隊機數一）移動哨戒機四隊機數
機四機（機察機 三機不明 一機）不明機 五機中、機察機 六隊
（戰闘機 二隊不明一隊）「イニ島」中、イニ島。

東亞社 銀字多中爲、完全機察機
一八九〇 協作機一隊（四七〇五）高橋
一八八〇 岩佐（久保田）

九

停

作戰緊急



六三

受信一八五〇

歸丁一九一九 電〇一五八八

作機本〇

昭和廿年六月四日

一〇P B 電令作第三九號

第三空艇隊指揮官ハ左ニ依リP B 電令作第七〇號ニ依ル輸送ヲ實施

スメン

六月四日

元山、富高間

三元山空務留職機體輸送搭乗員二九名。

通一六七六 於一七(一二六) 橫通放

阿部(山中)

六三 受信二〇三〇一五 譯了〇一〇五 電〇〇一六六四 航作機本

案 餘 共 符



天航空部隊指揮官・笠ノ原航空基地
天航空部隊戦闘機報告信機所

機密第〇三一七五八番第二分ノ二

二八一部隊戦闘機報告

一九九式艦爆六機（沖繩艦船攻撃）零戦戦闘第三一三飛行隊十機戦闘機

三一六飛行隊一四機計二四機（沖繩連合制）一〇四〇乃至一一一〇

機一六四〇迄ニ零戦。三一三 八機。三一六 七機計一五機降着

二 結果

一九九艦爆空母發見ヲ報ジタルモノ一機敵艦船發見ヲ報ジタルモノ一機
機命中符號連發セラルモノ一機其ノ後ノ情況不明確三機ハ獲之馬ニ不

通一七一四

呂一〇〇一三（七八七五四）一五〇日放

附文（小）

時着（本日又ハ明朝攻艦ノ豫定）

（一）零戦一三〇〇頃ヨリ一三二五迄沖道北端ニ於テ四〇及六〇十數

機ト空戦空隊一機（不確實）空戦中ニ墜タルモノ多機（一三〇）

四機

三、被害九九艦艇未歸還三零戦〇三一三六歸還二被弾一〇三一六自爆一未

歸還六。

六四 要領 〇一二一 丁〇二四五 〇一九一八 作機〇



機

〇三一九〇五

要領要領〇四八五機 其ノ一

二日〇八三〇一三日一十〇〇ノ出系セル沖道方面敵航空機状況

地飛行場關係機一〇機（墜機五機不明五機）機隊略破機八機機隊

海四機（到着三機）不明機三機中飛行場關係。

（要領要領）本要領、二以下未詳

機一八三九 機作（四一〇五機）機機 林（川機）

六三 受書二三一七
作 和
四三 受書〇〇一五
作 和
〇〇 受書〇〇一五
作 和



天統通郵券作銀者合諸價目好・藤夜航空券

三一九一五五五 二分ノ一

岩川天統通郵券指印官

岩川菊本「九」作戦ノ作戦要領左ノ如シ

大乃五一八機子機二機池・南九州航空又ハ米機等

機大機

三度目自機油機航空機主カ、伊江飛行場。

目一七九五 品一B〇一(七八七五B)一EFGB成

Faint, mostly illegible text and markings on the right page, possibly bleed-through or very light handwriting.

作戰概要

六

三 貨信二三九
四 沃始〇〇一五

誤了〇〇五〇

電〇一七五五

航作概
本

岩川空基地

作

着

天航空部隊作戰命令着信艦所
藤 枝空基地

機空第〇三二八二五番電 二分一六

三 晉進時刻〇〇〇以後主カハ〇一四五以後

四 攻進時刻一三〇以後主カハ〇三四五ヨリ〇四五ノ間

五 心電戰大移〇三〇晉進〇六二五一〇三五南九州制空狀況ニ依リ
本日空敵索敵要領ニ依ル索敵攻進トナス

二 電信課註 本電一之既配布

通一七九六 石一日ア十三七五五(一)トF日放

言稿(表四)

六九 受信。三九七 譯了。一〇。 電。二四九七 作概。
譯始。八一六

傍

着

聯合艦隊

傍

三一八二。

聯合艦隊 參謀次長 第六航軍第八飛行師團
球參電第五一九号其ノ六
爾余正面ニ於シモBCDニ種日標ヲセンテイヌラ要ス
四我ニ近接シ来リタル敵艦艇ヲ反俾並視ノ眼前ニ撃テ次シ
我ガ僅ノエスライヤガウエニモ日印揚セシメタリ。

(電信課註 本電其ノ六以外未着)

通三四三

協ロ

() 修通

才木(珍也)

六三 受信二〇三五 脚丁二二五〇 電〇一六一六五 航作本〇



先遣部隊 (護衛部隊)

機密第〇三一八二〇 香電二分ノ二

R B 綜合情報第九三號

一 沖繩陸上現線那羅神里與那原敵戰中

二 沖繩周邊〇八一五北中飛行場沖戰艦三隻巡洋艦一隻驅逐艦六隻

輸送船四〇隻永滿沖〇三D三E五艘良間ニ相當大部隊到着セシ

モノノ如キモ兵力未詳

三 敵機動部隊〇九三〇頃へキ三四六空母正規二特一ヨ一〇二

へエ七一三A三B三針降西遠力一六節〇五二五ヨリ〇九二三迄

九州南部ニ百數十機來襲セリ我航空部隊ハ菊水九艦作戦發動沖

繩周邊艦船ト併々攻撃中ナリ。

正六機三一七〇〇 呂一ヶヶ十二(五二九五) 六ヶヶ放 岸・岩佐(秋葉)

停

六三 受信 〇六〇六 譯了 三二。電 〇一九一五 作概 〇一九一六

着

着

號

三一三〇〇

六航空軍情電第八〇八號 其一、二

神繩方面艦船、動向、以次、勢ヲ呈シ、策動ヲ準備シアリ

神機動部隊ハ九州來襲ト因時ニ注目 其概要

左、如シ 一度良肉列島ニ大船團到着セルニ詳細不明(二四〇)

海軍報) 通 一九四一 協作(七八七五kk) 一KFGB夜 戸田(吾平)(L)

二〇八〇ヨロシ島 西方ニ艦船約ニ。隻集結ノイヤ
 島ヲ砲撃セルモノ如ク一〇〇〇頃ヨリ突上ルヲ認ム
 (ヨロシ島監視所報)
 三知蘭隊長情ニ依ルニ日神繩周辺艦船慶良間ニ
 假泊アリト。

電信譯註(本電其ノ三以下未着)

(2)

六日 電信〇六〇二 譯註〇八九七
 譯了〇九四一 電〇一九一九 作概。

傍

●

●

三一三〇〇

六航軍情電第八二〇八號其二三
 (常時ノ約ニ依)ヨリ 敵機動部隊存力部隊艦船去現シ
 アリ又燃料糧秣ノ補給完了ヲ報シタル艦船多シ慶良間方面
 於艦ノ行動活潑ヲ呈シアリ。

電信譯註(本電其ノ三及其ノ四以下未着)

通一九四四 協作(七八五七)一トフクニ 長尾(於七)

六 受信開始 〇八〇一 丁一四一七 電〇一九五九 作機〇

● 宮古島警備隊

- 東通・聯合艦隊司令部・佐佐木・高松
- 石垣島警備隊



機密第〇三二一〇九番電 二分ノ一

三日戦闘概報

來襲機(米機)延九六機〇七二〇・一四〇〇・一六四五ノ三回ニ亙
リ二〇機機其ノ他〇四〇〇・〇六〇五・一八二五・四乃至八機編隊
ニテ四次ニ亙リ陸海軍飛行場及監野崎周邊銃撃隊。

〔東通電、本電開始符不解ノ爲譯文延延〕
〔電信機、本電二分ノ二既配布〕

通一九三九 天二日ケ十一(B) (佐送) 長野(川崎)

六三
受信口三三三
譯始五口口
譯了五三五
電二三三
航作概

破屋隊
向佐鎮口高擊口
宮古島警備隊

石垣島警備隊

機密汁三三三九番電 二分三

在空時同概本時同別三三三三
ニノ機機P149B12一機本島南方可通
數果十三被毒致死二輕傷三二十五機銃一
破壞

通一九三六 天ニB4二(五〇〇K)
作通
村尾全行

午前ノ激撃戦ノ結果ノ左ノ如ク訂正ス
戦果墜陸八機損害自燃二機未歸遊三機。

六 四 受信機 〇〇一三 電丁 〇一〇五 電 〇一六五〇 航作 本〇
電話 〇〇五七

作戦果余 岩川 航空基地



藤枝空基地・天竺空部隊作戦令 岩川信機所

秘密第〇三二二三四番

某機部隊明朝天候許サハ列島線索敵攻撃ヲ實施ス

一、岩川六機都井原ノ一〇度ヨリ一六〇度間開度一〇度進出距離一二〇哩
二、岩川十機岩川ノ一六五度進出距離一六〇哩何レモ〇三一五以後進出

二二三四

一九二八 於十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、一百〇一、一百〇二、一百〇三、一百〇四、一百〇五、一百〇六、一百〇七、一百〇八、一百〇九、一百一〇、一百一〇放

大 四 受信 〇二四〇〇 丁 〇九〇〇 電 〇一八八七 陸 訊
開始 〇七五〇〇

情報着信處所

共 符

暗號

機密第 〇三二二五九番

三分ノ三

三 編成五八 K D B ニハ A 一 群ニシテ兵力シヤンダリラ (指定) 一〇三
四 艦艇二乃至三隻 (アイボリ級一ヲ含ム) 巡洋艦數隻 (超巡ヲ含ム)

五 シヤングリラノ搭載機數 P U I 一 五 O T A M . T B P I 一
三〇

六 作戦経過 昨年九月新裝米國出港ハワイ着爾後中部太平洋ニ於テ洋
上訓練四月上旬ハワイ發五月二十三日頃 P U 着五月二十九日夜歸返
艦數隻ト共ニ P U 出港翌日他ト合同

一八六六 日一ヨク十二八七八七五〇一 K P D 中(新井)(一)

七 發艦位假三五七度ヲ北上約二時間ニシテ種子島西側ニ至リ次テ南九州ニ侵入セリト

八 P U 在泊艦船數送船七二亦不詳

九 使用電波中國四七五KCアリ。

〔電信譯註 本電三分ノ一既配布〕

二

六 四 受信一三四六 譯丁一三五七 電〇二〇〇五 作機〇

緊 錄 共 符



● 沖 根 ▲

機密第〇四〇一一〇番電 二分ノ二

發 臺灣軍參謀長 通電先 球 (帶) 通 (師) 艦 (靖)

貴軍計畫通信系統ヲ異存ナキモ福岡盛北各二系ハ〇四一〇航空各一系トシ宜蘭新田原各一系ハ航空保安 系 (福岡新田原) 又東京系ノ確保ハ極力努メラレ度。

〔電信譯註 本電二分ノ一既配布〕

通二〇二二 呂一Bケ七 (九六九〇B) 佐通 京永 (上野)

六四 受信一〇〇三 譯了一五〇〇 電〇一九三九 航機本
譯始一一五五 〇一九三八

指宿航空基地



小富士航空基地
天航空部隊

機密第〇四〇五七八番電

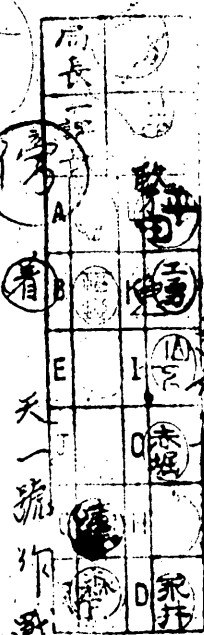
二分一二

六三四部隊(丁三〇二水山偵察機)指宿基地戰術概報(三日)
東海夜間哨戒一索二三一五發進電波探信儀故障、為進出一〇三
引込ス〇一三歸着飛行高度六〇〇米、二〇〇米二索二三
五發進先端〇一三二先端附近天候不良、為進出二七五〇三三五
歸着飛行高度二〇〇米先端附近二〇〇三索故障、為發進透
〇一七發進進出七五三三三先端〇二五二〇四四〇歸着飛行七〇
米、二〇〇米以上何モ偵察ヲ得ズ、二三索電波探信儀良好天
候量少量一〇雲高七〇〇一三〇〇米列島線下層電雲多ク最低
雲高二〇〇米氣流極メテ不良風南西六米、スト有、視界極
メテ不良ナリ。

一九九四 呂一〇七十二(九八三〇)佐二放 見玉(増田)
一九九七

沖繩
○年○月○日
○力○キ○花○附○近
○敵○上○陸○ヲ○開○始○ス。

機察第○四○七○八番電



天一號作戰部隊

沖繩根P

六四

受信○七三○

發了○七四九

電○二八一七

新電

昭和廿六年六月五日

通一九六九

於十六(一九六九)機察

山本(森田)

古田受信。八二三 款了。九五五 愛。八二三 作硯。

胡始。九四五

作致業急

④ 沖繩 振

傍

④ 天一號作致部隊

機密第。四。六。三五番電

二日一四〇。以後真玉橋より西進せし約四〇。(詳細不明)敵ハ三日二〇。根差部高入橋ニ侵入セリ。

通一。於一六(九八三)。(情) (傍) (日)

六四 受信〇八〇八 譯始〇八三四 電〇一八一五 作研〇 參本

緊急

傍

天一號作戰部隊

沖根 P

機密第〇四〇七三八番電

本朝來豐見城及鏡水ノ二方面ニ敵ヲ邀ヘ激戰中。

通一九七六 於十六(九六九〇Kc)蟹ヶ谷 望月(猪狩)

六 四 受信一六四七九 丁一七四五 至〇〇二〇五五 航作本〇

至 急 天航空部隊戰況概報信務所 共 符

天航空部隊戰況概報信務所 〇四〇八三〇番電

六月三日

彩雲二機紫電一機〇五二〇ヨリ〇六四五迄ニ發進索敵〇八三〇
沖繩北端ノ一二〇度一〇〇度ニ正規空母二隻特空母一隻戰艦一
隻巡洋艦二隻其ノ他十數隻ノ一群〇九三〇ニ沖繩北端九〇度七
〇度附近ニ正規空母三隻戰艦二隻其ノ他十數隻ノ一群ヲ發見
以上ハ目視セルモノ(距離三〇〇哩以上ニシテ攻撃取止ム
右二群ハ航法誤差並ニ視界不良ノ爲同一群ノ算アルニ搭乗員奇
界島不時着陸投キタル爲目下調査中

山下、藤澤、中野、田田、石井

三、四〇一 六六計約八〇機南九州地區ニ來襲銃爆撃被害輕微
戰果ナシ

三、陸軍第一〇次總攻撃ニ協同沖繩上空制空隊ハ一〇四五ヨリ一一

〇ノ間ニ計六四機發進一部一三二五頃沖繩北端ニ於テ四〇一

六八一計約一九機ト交戦ナル外視界不良ノ爲伊江島西海上空

附近ヨリ反轉歸投ナリ

四、四〇一 四機其ノ他一機計五機擊墜(未歸還機ノ分ヲ含マズ)

被害自爆未歸還計八機

五、沖繩泊地艦船攻撃ノ爲九九式艦爆六機一〇四〇ヨリ一一〇間ニ

發進三機天候不良ノ爲徳之島ニ不時着他ノ三機ノ通信狀況左ノ通

空母發見ヲ報ジタルモノ一機巡洋艦發見ヲ報ジタルモノ一機

命中符號ヲ連送シタルモノ一機

六、本攻撃ニ参加ナル陸軍側兵力制空掩護戰國機計三六機特攻三一機

(2)

六 五 受信〇三五八八 丁一〇三五 電自〇二七九五 作機〇
聯 合 機 隊 四一〇八三五



傍

通電先 次長(中央情報) 陸軍總司令部 陸軍省 陸軍省 陸軍省 陸軍省

重要情報 第四八三號 其ノ一、二、三、四、五

情報(六月三日)

特攻機(撃破) 艦船不詳ニ上陸用舟艇ニ八六機「キヤコフル」

機「サ」トロキヤナト「ハイレシ」ト「キヤール」ハ

船員ノセツキメン、修理ガ必要ナリ

「クロバ」ト「四四」(陸軍機)「ストツブキ」ト「ヤツ」(艦船不詳)

一四三三 二四三三 二四三三 二四三三 二四三三 二四三三 二四三三 二四三三

作機(佐) 東(松井)

艦隊〇三〇七「タロキヤン」「マツケル」「マツ」タロバ一八四四
 〇リ下キ卸セリ死傷サマストツンギヤツン〇全部荷物ヲ卸セリ一頁
 〇ガ損傷ヲ受ケ
 三「パンロツド」〇六四八「上陸用舟艇」艦隊坐標〇二二〇「シヤ
 ン」「ススケ」〇「パンロツド」〇四八ハ尙坐標マタイル。
 【南通社 本軍艦半部ノタタカノ襲撃困難】

昭和廿六年六月六日

六 四 受信 一一〇二五 終了 一三五〇 電自 〇一九八四 作概 〇
 開始 一一〇〇〇 至 〇一九八六

作戦緊急 佐通・東通・鹿屋空基地 共 符

作

機密第〇四〇九一八番電三分ノ二三三

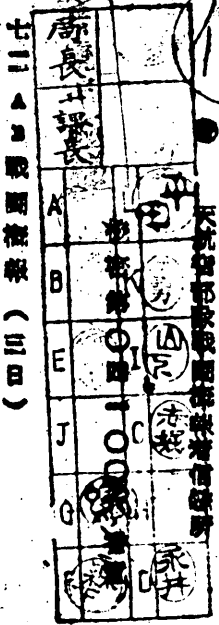
發沖根司令官 宛佐鎮長官 次長 〇〇長官
 第三二軍ハ六月二日〇九四〇各部隊喜屋武半島南部ヘノ兵力集中行
 動ノ目的ヲ達成セリ此ノ間海軍部隊ハ小緑地區ヲ虛點トシ陸軍部隊
 陸送ノ支援ニ任セリ第三二軍ハ六月二日以後小緑地區ニ殘存ナル海軍
 兵力ノ主力ヲ喜屋武半島南部ニ合流セシメントスル最初ノ方針ニ從
 ヒ當方亦着々準備中ナリシ處ニ日夕刻ヨリ敵ノ進攻急ニシテ眞玉
 電二〇〇二・二〇〇八・二〇一六・二一〇ケ七 (九八三〇) 〇〇谷川
 〇〇田・山下 (三石洋)

橋、嘉敷、根坐部艦ニ於テ豫備隊（砲部隊）ノ大部分ヲ戰團ニ參加
 シムルノ情況トナリ更ニ四日早朝小森地區海面ヨリ海上陸開始
 ノ爲ニ戰ヲ展開スルニ至リシ爲ニ遂ニ陸軍部隊ニ合同不可ノ狀態ニ
 至レリ
 右事情ニ依リ海軍部隊ハ最後ノ一兵ニ至ル迄小森地區ヲ守セシ
 ス本戦ハ三日夜司令部ヲ小森第九五一空戰團指揮所ニ移轉作戦指導中。

6~4

(3)

(1/2)



六 四 受領一七四三 野丁一九〇〇 電〇二〇六一 就作標本〇

一〇七五〇ヨリ〇九一五迄ヲ六ヨリ四ヨリ一計約八〇校南九州各港
 地ニ來襲

一〇八三〇ヨリ一六五迄三四五空軍電二八校ヲ以テ遂ニ〇九三〇頃久
 島附近ニ於テ敵三〇機ヲ撃シタルヲ距離短キ之ヲ逃ス
 一〇八二〇ヨリ〇九四〇迄二〇三空軍電六校出水基地上増設敵機ヲ撃ス
 同被撃三四三空軍電一校油壓低下ノ爲ニ分附近海上ニ不時着落飛員行
 幸不明々

一〇一七〇 四一〇六(十八七五) 一スラ放 林(松井)

至急
六五
受信一八四五
誤始二一〇〇

誤了二二〇〇
電〇二七三入

軌作機
本〇

作

高碓通信隊
東京通信隊
宮古島警備隊

機密第〇五〇八三〇番電

發 石垣島警備隊司令

宛 高碓警備府長官

通報 山下少謀長 大海參一少長 航本總務長 一八下參

謀長

宮古島警備隊司令 左依り 紫電三〇機 運送 北東及留方
通二七二八 天二日々十一(五二)〇電 往通 日田(細川)(一)

面ニ急配テ詮議相成度 先ニ花月列島攻略作戰ニ急テ
川活躍ハ一ニ制空權ノ確保ニ在リ沖繩方面陸上作戰有面
換示然リト信ス。



六五、受信一八〇三 訖一九二〇。電〇二五十八 作概
訖始一九〇〇。

三三急

石垣島警備隊

作

東通 高通 天亨 作戰部隊各口

沖持機 P 宮古島警備隊 ?

指統

機密才〇五二〇ニ番電

四日戦斗概報

一〇三五敵艦上機七機未襲陸軍飛行場銃爆雲一〇五

ヨリ一〇五周 P B M 一機南東海面偵察東才ニ進去ス

二〇九四〇敵潜水艦一隻距離一万宮古島南西海面ヲ游ル

一七四〇再び浮上一九五。南東ニ見失フ。

通三七五。ヲ一六(九六九。K)佐通 小田(青山)

作戰緊急

台灣 丁

六五 澤船 八二〇 至〇三五五航

作

五

五基艦航軍部隊指揮官

五

五基艦航軍部隊指揮官

族 番号〇五一五。番 番号 三〇、一、二、三

新竹攻東部隊概報 (六月四日)

一七〇。元山四隊中總周達敵船庫身雷，為卒進一隊
一九一五地真，又以上二於行「スコール」中二輸送船四隻(釘路二一〇各
連力〇一節 附近猛烈「スコール」為全貌確認し得ず(本具
一九四〇攻重七五發射直後「スコール」中二今我果未確認發射
後敵夜武二隊、執勅二追跡、度々一隊一九二三夜未東一
〇埋附近二於行「スコール」中二船概不詳一隻(駆逐艦「三浦大」
通 三三九、三三〇、三二七、三二六、三二五、三二四、三二三、三二二、三二一、三二〇、三一九、三一八、三一七、三一六、三一五、三一四、三一三、三一二、三一

日本是 雷重七七 初果不取 一棧一九四五 以名喜系
北西五 雷附三 輪送船三隻 駐送艦一隻 掃障
碇泊中 輪送船雷重轟沉 以上何止三三三三三三三三
歸着 我境 附近 天候不良 雲量九一〇 雷雨一〇
所益烈 九一〇 雷雨一 一棧 天候不良 為中途
引返 宜南 經田五日 早到 對新 歸着

（東通）註 誤字多者運送

方 五 夏 依 一 二 四 〇 款 了 一 三 一 三 雷 〇 二 四 三 〇 作 務 〇
款 始 一 五 〇 九 航 本

作戰科別隊員

（後） 共 以付

（作）

（看） 天航空部隊
作戰命令看信稿所

機 務 第 〇 五 一 二 三 一 番 號

丁 下 日 信 電 令 作 第 一 三 七 號
菊 水 部 號 作 戰 用 意

通 三 九 一 才 十 六 (七 八 七 五 九) 下 五 〇 七 放 望 丹 (西 境)

六五 受信一七四〇 譯了二二三〇 電〇二九五〇 作掩〇
譯始二〇二〇

至急

③ 沖根 P

停

④ 天一子作戰部隊

機密第〇五二二三二番電二合一

機密部隊

沖繩特根聯合陸戰隊戰聞機報第五三號

六月二日一六〇〇敵約四〇〇名真玉橋通過嘉敷部落二侵
入七ル、逸擊真玉橋兩方部落擊退共刀約三〇〇名ヲ
根^至部(二三〇〇進出)更二三〇〇名ヲ長堂方面(三日〇
通二七〇三 呂一B々々(九八三〇)任二故 次四細川 (一)

四三〇進出) 增強本隊開ニ於テ相當ノ義果ヲ收メ得タルニ
 ト認ムルモ味方亦相當ノ損害アリ調査中 六月三日
 〇五〇〇頃 眞玉橋ヲ挺身爆發。
 〇電信課註 本電二分、ニ未着ニ

(二)

六五 受信一九一五 譯了二三三一 電自〇二七六二 作機〇
 譯始二〇一三 至〇二七六四 參本

至急

發

沖根 P

停

發

天一號 作戰部隊

機密第〇五一二三八番電 三分、二三

沖根聯合陸戰隊戰報第五四號

一、六月四日〇五〇〇水陸兩用戰車約一〇〇兵員約六〇〇各小
 隊(鏡水)附近ニ上陸開始機銃迫撃砲噴進砲等ヲ以テ
 之ヲ邀撃猛射ヲ與ヘ尚北明治橋修築中ノ敵兵ニ對シテモ
 猛撃ヲ加フル等撃退ニ對シテモ敵ハ逐次滲透一八〇〇ノ戰
 線視テ内閣ノ與ヘテ勇氣象臺前ノ糸滿街道以西ニ及ベリ
 夜間各隊全力ヲ用テ陣前ニ於テ敵兵約四〇名ト交
 尚鏡水海岸砲台員ハ陣前ニ於テ敵兵約四〇名ト交
 戰ニ〇名ヲ殺傷敵ハ遺遺七、二〇名ヲ認メ支那人ト認

通 二六六五 五二五七七(九八三〇) 佐二放
 二七三二 池原(增田) (1)
 二七三七 大澤

六月五日 陣前二五〇米ニ於テ機銃ニ依リ、約三〇名殺傷
 戰果迫撃砲ニ依ル人員殺傷約六〇名其、他陣前殺傷一〇
 ○下ラズ判明セル斬込隊戰果機銃六挺迫撃砲二門
 幕舎ニ破壊人員殺傷約一〇名
 二、東部眞玉橋ヨリ侵入、敵、逐次勢力ヲ增加味方防戦ニモ
 拘ラズ戦線ハ嘉敷根坐部、高八端、東南端、線ニ及ビシ
 爲主トシテ系満街道ニ進出防上、爲平良方面ニ増援部
 隊ヲ出シ之ニ備フ。

六六 受信一〇〇〇 譯始一六三〇〇 譯丁一九三〇 電〇三二八九 作 機〇

三 會 沖 根 牙



天一總作戰部隊

機密第〇五一二三八番電 三分ノ三

時況極秘

殺傷約一十〇名

二、東部眞玉ヨリ侵入ノ敵ハ逐次勢力ヲ增加シ味方防戦ニモ拘ラズ
 戦線ハ嘉敷ヨリ根坐部、高八端、東南端ノ線ニ及ビシモ西方迄
 街道ニ進出防止ノ爲平良方面ニ増援部隊ヲ出シ之ニ備フ。

電信課註 本電三分ノ二未着

通三〇九七 呂一八ヶ七(三九八五K) 七〇〇B放 岩田(小階)

○頃ヨリ九三〇迄
 特ニ成列〇九三〇ヨリ
 空軍同ス午後四時三十分
 前午後共ニ何レモ機撃ヲ行ハズ一五〇〇頃無敵射撃特ニ成列。

（電通社 本電報字多ク誤紙）

六六 受信〇五〇〇 射了二〇二〇 〇二八五頃 作 〇
 開始〇九一五 〇二八五五

至 急

天一號作戦部隊指揮官



夜密第〇五二七五二電記 二分ノ二二

五日一七〇〇ノ状況

一 根業部 高安方面ノ敵ハ陣地構築中ニシテ戦線ノ動き活潑ナラズ
 二 小磯地区朝來ヨリ戦車七〇臺以上ヲ伴フ千名以上ノ敵ハ飛行機ノ襲撃支
 援ノ下ニ攻出テ被我徹戦中ニシテ逐次味方陣地ニ侵テツツアルモ補固
 空部隊ハ陣前ニ克ク防戦中ナリ
 三一七〇〇ノ戦線ハ垣花赤嶺西端ヨリ朝尾西宮古峯嶺北端ヲ連ナル線ナリ
 四一三〇〇大嶺海岸戦車一五輛歩兵一五〇一新ニ上陸セルモ内戦車ニテ
 坐炎上セシメ人員ノ外戦車ハ撃退ス。

三〇〇三九 呂一三〇七